



問 村の価値を高める 自治会支援は

答 様々な意見を傾聴して再興を図る



新政とうかい
みかみ おさむ 議員
三上 修

問 自治会は「身近な問題の解決にあたる住民自治組織」と定義されている。自治会の業務は多岐にわたるなか、退会者が続出し役員のなり手も減少して運営に支障を来している。村内では課題の気づきを促すために、村の幹部や部課長を招いて勉強会を行うとか、持続可能な社会形成を目指して通学路の見守りや沿道の花壇整備を行う政に丸投げせず自ら行う自治会もある。

東京都では自治会の活動がまちの価値を高めるとし、積極的な取

り組みがなされているが本村の対策はいかに。**答** 村では自治会活動を持続可能なものとするため、自治会加入の支援や負担軽減に取り組んでいる。村政懇談会などを通じて負担軽減に向け方向性や具体策を検討する。



所轄消防本部の指導による村内自治会の消火訓練

また、防災の視点からの入会の必要性や重要性を再確認していた。また、防災の視点からの入会の必要性や重要性を再確認していた。また、防災の視点からの入会の必要性や重要性を再確認していた。

問 デジタル社会での 個人情報保護は

答 適正な管理・指導をしている



光風会
えだ いつむ 議員
江田 五六

問 最近のデジタルの急激な普及で、全国的にトラブルが多発している。本村におけるICTシステムの利用実態は。

答 業務を効率化するため、人手不足・業務支援としてあらゆる行政分野を通して70件のICTシステムを導入し、活用している。また、村公式SNSやのび子育て帳などの情報発信系*アプリのほか、児童・生徒の出欠確認等にアプリを活用している。

や個人情報の保護対策について伺う。昔からの言い伝えとして、「千里の堤もアリの一穴から決壊する」という言葉がある。村民の個人情報保護には十分な指導と対策が必要。

問 安全性に問題がないことを十分確認した上で「健康確認アプリ」を導入。児童生徒の健康状態や出欠確認等の一元的な把握・管理に活用している。学校に対し、運用会社のセキュリティについて定期的に確認や、IDパスワードの適正な管理・指導をしている。



情報洪水による個人情報の被害
適正な管理が必要